



平成30年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月30日

上場会社名 シェアリングテクノロジー株式会社 上場取引所 東・名
コード番号 3989 URL <https://www.sharing-tech.jp>
代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)引字 圭祐
問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)篠 昌義 (TEL) 052(414)6025
四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第1四半期の連結業績(平成29年10月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第1四半期	556	—	53	—	36	—	15	—
29年9月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 30年9月期第1四半期 15百万円(—%) 29年9月期第1四半期 —百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
30年9月期第1四半期	円 銭 2.66	円 銭 2.51
29年9月期第1四半期	—	—

(注) 当社は平成30年9月期第1四半期累計期間より連結財務諸表を作成しているため、平成29年9月期第1四半期累計期間の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
30年9月期第1四半期	百万円 6,202	百万円 1,437	% 22.8
29年9月期	—	—	—

(参考) 自己資本 30年9月期第1四半期 1,415百万円 29年9月期 —百万円

(注) 当社は平成30年9月期第1四半期累計期間より連結財務諸表を作成しているため、平成29年9月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
29年9月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
30年9月期	—	—	—	—	—
30年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年9月期の連結業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,189	—	469	—	450	—	326	—	54.30

（注）直近に公表されている連結業績予想からの修正の有無：無

※ 当社は平成30年9月期第1四半期累計期間より連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

※ 平成30年9月期の連結業績予想については、現時点で第2四半期（累計）の合理的な連結業績予想の算定が困難であるため、通期の連結業績予想のみを開示しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規 — 社（社名） — 、除外 — 社（社名） —

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

30年9月期1Q	5,801,500株	29年9月期	5,801,500株
② 期末自己株式数	—株	29年9月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	5,801,500株	29年9月期1Q	5,178,400株

（注）当社は平成29年4月12日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。平成29年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式と期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、当第1四半期連結会計期間において、フランチャイズの窓口株式会社（旧名称：Idealink株式会社）の全株式を取得し、当第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しております。

（将来に関する記述用についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2の「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(企業結合等関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、米国をはじめとする海外の政策動向への懸念や地政学リスクの発生などはあるものの、政府による経済政策や株式市場の好調を背景に、雇用環境、企業業績の改善は続き、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

当社の主たる事業領域であるインターネットビジネス業界は、スマートフォンやタブレット端末等の普及によるデバイスの多様化に伴い、IoT（モノのインターネット）が急速に拡大しております。日常生活においてもIoTは普及しており、インターネットへの接続が容易になったことで、暮らしの中でのお困りごとを抱えるユーザーと生活に密着したサービスを提供する加盟店とをマッチングさせる当社提供のバーティカルメディアサイトへの関心も、ますます高まっております。

上記事業環境の中で、当社は当第1四半期連結累計期間におきましても、引き続きバーティカルメディアサイトの運営においてコンテンツ強化や、更なるサービス提供範囲の拡充等による既存事業の継続的な強化、増加するユーザーからの問い合わせに 대응するための受付窓口としてのコールセンターの増強、及びポータルサイトである「生活110番」のコンテンツ強化等による成長基盤の確立に取り組み続けて参りました。また、対ユーザーだけでなく、加盟店に対しての利便性の向上にも注力いたしました。

新規サイト、新規事業における進捗状況として、12月に航空券予約サイトである「ソラハピ」を新規開設し、既存事業で培ったWEB広告ノウハウや自社運営コールセンターを活かした運用を行うことで、成長と拡大に努めて参ります。また、外国人観光客数増加に起因する、国内宿泊施設の不足をチャンスと捉え、国家戦略特別区域法に基づく、旅館業法の特例を利用した「民泊型ホテル事業」の開始を発表しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は556,072千円、営業利益は53,760千円、経常利益は36,159千円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は15,446千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、5,546,451千円となりました。主な内訳は、現金及び預金5,235,892千円であります。

固定資産は、656,424千円となりました。主な内訳は、のれん220,294千円、差入保証金175,831千円であります。

この結果、当第1四半期連結累計期間における総資産は、6,202,876千円となりました。

(負債)

流動負債は、1,155,730千円となりました。主な内訳は、1年内返済予定の長期借入金650,000千円、1年内償還予定の社債235,000千円であります。

固定負債は、3,609,168千円となりました。主な内訳は、長期借入金2,579,168千円であります。

この結果、当第1四半期連結累計期間における負債合計は、4,764,898千円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結累計期間における純資産は、1,437,977千円となりました。主な内訳は、資本金570,079千円、資本準備金535,079千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年1月29日の「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、上記予想は、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予測数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第1四半期連結会計期間において、フランチャイズの窓口株式会社(旧名称: Idealink株式会社)の株式を100%取得したことに伴い、同社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

		当第1四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金		5,235,892
売掛金		205,981
貯蔵品		580
前払金		21,600
前払費用		59,646
未収入金		15,812
繰延税金資産		1,464
その他		7,876
貸倒引当金		△2,402
流動資産合計		5,546,451
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)		74,372
工具、器具及び備品(純額)		19,436
有形固定資産合計		93,809
無形固定資産		
ソフトウェア		106,485
のれん		220,294
無形固定資産合計		326,779
投資その他の資産		
投資有価証券		40,077
出資金		40
破産更生債権等		4,266
長期前払費用		14,699
繰延税金資産		5,187
差入保証金		175,831
貸倒引当金		△4,266
投資その他の資産合計		235,835
固定資産合計		656,424
資産合計		6,202,876

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間
(平成29年12月31日)

負債の部	
流動負債	
1年内返済予定の長期借入金	650,000
1年内償還予定の社債	235,000
未払金	182,661
未払費用	46,175
未払法人税等	3,277
未払消費税等	21,245
その他	17,370
流動負債合計	1,155,730
固定負債	
社債	997,500
長期借入金	2,579,168
資産除去債務	32,500
固定負債合計	3,609,168
負債合計	4,764,898
純資産の部	
株主資本	
資本金	570,079
資本剰余金	535,079
利益剰余金	310,346
株主資本合計	1,415,504
新株予約権	22,472
純資産合計	1,437,977
負債純資産合計	6,202,876

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成29年12月31日)
売上高	556,072
売上原価	1,776
売上総利益	554,296
販売費及び一般管理費	500,535
営業利益	53,760
営業外収益	
受取利息及び配当金	5
受取手数料	7
償却債権取立益	18
雑収入	32
営業外収益合計	63
営業外費用	
支払利息	953
社債利息	460
社債発行費	16,250
雑損失	0
営業外費用合計	17,664
経常利益	36,159
特別損失	
固定資産除却損	248
特別損失合計	248
税金等調整前四半期純利益	35,911
法人税、住民税及び事業税	788
法人税等調整額	19,676
法人税等合計	20,464
四半期純利益	15,446
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,446

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	15,446
四半期包括利益	15,446
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	15,446
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年10月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	WEB事業	民泊型 ホテル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	556,072	—	556,072	—	556,072
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	556,072	—	556,072	—	556,072
セグメント利益又は損失	66,972	△13,212	53,760	—	53,760

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益決算書の営業利益と同額となっております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

平成29年12月19日開催の定時株主総会にて、定款の事業目的に宿泊業を加え、事業の開始を決定したことに伴い、第1四半期会計期間から、報告セグメントに「民泊型ホテル事業」を追加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「WEB事業」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間よりフランチャイズの窓口株式会社(旧名称: Idealink株式会社)の株式を100%取得し同社を連結の範囲に含めたことに伴い、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間において220,294千円であります。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

(1) 企業結合の概要

①被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：フランチャイズの窓口株式会社（旧名称：Idealink株式会社）

事業の内容：インターネットメディアの運営、インターネットサービスの受託開発及び制作等

②企業結合を行った主な理由

フランチャイズの窓口株式会社が運営する、フランチャイズ加盟希望者と募集者を繋ぐWEBサイト「フランチャイズの窓口」や金融メディアサイトは、ライフサービスを提供する当社でも、未だ提供できていない領域があります。また、「フランチャイズの窓口」の加盟希望者と、当社のライフサービスジャンルにおける加盟店は顧客層として共通する要素が大きく、当社の事業運営上シナジーが十分に見込めるものと考えております。そこで、当社の事業で培ったWEBノウハウや当該シナジーを利用して、より企業価値向上を図るため、本企業結合を行うに至りました。

③企業結合日

平成29年12月25日

④企業結合の法的形式

株式取得

⑤結合後企業の名称

変更はありません。

⑥取得した議決権比率

100%

⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が、現金を対価としてフランチャイズの窓口株式会社の全株式を取得したためであります。

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	240,000 千円
取得原価		240,000 //

(3) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等 2,000千円

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

①発生したのれん金額

220,294千円

②発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の収益力を加味し発生したものであります。

③償却方法及び償却期間

10年間にわたる均等償却

(5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	710	千円
固定資産	24,108	〃
資産合計	24,818	〃
流動負債	5,113	〃
固定負債	—	〃
負債合計	5,113	〃